



平成25年7月18日

環境部循環型社会推進課

担当：帆足、原

内線：3497 直通：(092) 643-3381

福岡県と福岡都市圏17自治体による 「福岡都市圏紙おむつリサイクルシステム検討委員会」を立ち上げ

大都市圏初の紙おむつリサイクル実現が目標
排出事業所関連団体、リサイクル事業者も参加
7月19日に第1回会議を開催

- 高齢者人口の増加により紙おむつの使用量・排出量は増え続け、紙おむつの処理は市町村の大きな負担となっています。
- 県では、これまでリサイクル事業者（トータルケア・システム株式会社（福岡市））と連携し、使用済み紙おむつのリサイクルに取り組んできており、その結果、同社は、使用済み紙おむつから再生パルプを取り出すマテリアルリサイクルとしては国内唯一のプラントを平成17年に大牟田エコタウンに設置し、大牟田市内の病院等から排出される紙おむつや、平成23年からは大木町の家庭から回収された紙おむつのリサイクル処理を行っています。
- 今年度から、県と福岡都市圏17自治体が連携し、大都市圏初の事業所から排出される紙おむつリサイクルシステムの構築に向け、「福岡都市圏紙おむつリサイクルシステム検討委員会」を立ち上げ、学識経験者、排出事業所関連団体、リサイクル事業者等の参加も得ながら、検討を進めていくこととしています。
- 検討委員会では、概ね3年程度の検討を行うこととし、今年度は、事業所から排出される紙おむつの実態を把握するための排出実態調査や効率的な回収システム構築の参考となる広域回収実証実験の検討結果を踏まえて、議論する予定です。
- また、民間参加機関2社（トータルケア・システム株式会社及び日本製紙株式会社（東京））は、独自に再生パルプの高品質化等の研究開発に取り組んでおり、検討委員会では、その研究成果も踏まえて検討を進めていきます。
- なお、今年度の検討委員会は、年4回の開催を予定しており、第1回会議を下記のとおり開催します。

〔第1回会議〕

日時：平成25年7月19日（金） 14時30分～

場所：福岡県古塚合同庁舎 6階 603A会議室

【検討委員会の概要】

- 委員会名称 福岡都市圏紙おむつリサイクルシステム検討委員会
- 設置期間 平成25～27年度（予定）
- 目的 循環型社会の形成推進に向けて、福岡都市圏における紙おむつの実現可能なリサイクルシステムを検討することを目的とする。
- 検討事項 排出実態調査、広域回収実証実験に関すること
効果的なリサイクルシステムの構築に関すること
その他紙おむつリサイクルに関し必要なこと
- 事務局 福岡県環境部循環型社会推進課及び公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター

【参加機関】

○委員

伊藤 洋（北九州市立大学 教授）	
押方 利郎（福岡大学 客員教授）	
小出 秀雄（西南学院大学 教授）	
公益社団法人福岡県医師会	
福岡県老人福祉施設協議会	
公益社団法人福岡県介護老人保健施設協会	
公益社団法人福岡県保育協会	
一般社団法人福岡市保育協会	
福岡市環境局循環型社会推進部資源循環推進課長	
筑紫野市環境経済部環境課長	
春日市地域生活部ごみ減量推進課長	
大野城市環境生活部廃棄物・最終処分場対策課長	
宗像市市民協働・環境部環境課長	
太宰府市市民生活部環境課長	
古賀市市民部環境課長	
福津市地域生活部うみがめ課長	
糸島市環境部生活環境課長	
那珂川町住民生活部環境課長	
宇美町環境課長	
篠栗町福祉環境課長	
志免町生活環境課長	
須恵町地域振興課長	
新宮町環境課長	
久山町町民生活課長	
粕屋町都市政策部環境生活課長	
福岡県	環境部廃棄物対策課長
	環境部循環型社会推進課長
公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター センター長	

○オブザーバー

トータルケア・システム株式会社	
日本製紙株式会社	
福岡県	保健医療介護部医療指導課
	保健医療介護部高齢者支援課
	保健医療介護部介護保険課
	福祉労働部子育て支援課
	筑紫保健福祉環境事務所（地域環境課）
	宗像・遠賀保健福祉環境事務所（地域環境課）

【委員会開催予定】

	開催時期	協議事項
第1回	平成25年7月	委員会設置について（設置の目的、要綱等） 紙おむつリサイクルのこれまでの取組について ・リ総研から大木町事例、5市1町研究会等について紹介 排出実態調査及び広域回収実証実験について
第2回	平成25年9月	紙おむつリサイクルプラント（大牟田市内）見学 ・トータルケア・システムから事業内容等について紹介
第3回	平成25年11月	排出実態調査結果について（中間報告） 第1回及び第2回広域回収実証実験結果について トータルケア・システム、日本製紙の取組について
第4回	平成26年2月	排出実態調査結果について 広域回収実証実験結果について 広域回収の課題等について 今後の検討課題、来年度以降のスケジュール等

【参考】

○排出実態調査

- ・実施機関 福岡県（リサイクル総合研究事業化センター）
- ・対象 福岡都市圏内の排出事業所
- ・調査方法 アンケート票の郵送
- ・調査事項 紙おむつ排出量、分別状況、リサイクルへの関心

○広域回収実証実験

- ・実施機関 福岡市および福岡県（リサイクル総合研究事業化センター）
- ・期間 夏期（8月頃）、秋～冬期（11～1月頃）
- ・対象 福岡市、筑紫野市、大野城市
※福岡市分は福岡市が費用負担、筑紫野市、大野城市分は福岡県が費用負担して実施
- ・調査方法 排出事業所を抽出し、紙おむつを分別回収
- ・調査事項 排出重量、異物混入量
リサイクル施設で水溶化処理し、パルプの回収実験

【関係者連絡先】

福岡県リサイクル総合研究事業化センター（北九州市若松区）

TEL：(093) 695-3069 担当：田中、土田

福岡県環境部循環型社会推進課（福岡市博多区）

TEL：(092) 643-3381 担当：帆足、原